

## パイロット事業の選定

パイロット事業は「吉野川流域生態系ネットワーク」を先導するため、プロジェクトの取組から、平成27・28年度を目処に実施し、成果が得られるものを選定する。

### 1. 選定の観点

パイロット事業の選定にあたって、各取組について以下の観点から整理を行った。

#### (1) 対応する基本方針

基本方針ごとのバランスをとるため、各取組が対応する基本方針を整理。

基本方針1：「生物の生息・生育場所の保全・再生・ネットワークに貢献する」

基本方針2：「自然に親しむ場や機会を増やす」

基本方針3：「地域の魅力づくりや地域活力の向上に役立つ」

#### (2) わかりやすい成果

約2年の取組で得られる定量的な成果を整理。成果はアウトカム指標とアウトプット指標に区分。

アウトカム指標：施策・事業の実施により発生する効果・成果を表す指標

アウトプット指標：施策・事業実施することによって直接発生した成果物・事業量を示す指標

例) 魚道の設置の場合

アウトカム指標：魚道の設置によって移動できるようになった魚の数

アウトプット指標：設置した魚道の数

#### (3) 効率的（効果的）な取組

他のプロジェクトと重複する取組は、1つの取組で複数のプロジェクトにまたがる効果が得られることから、他のプロジェクトとの重複を整理。

#### (4) 短期間（約2年）での成果

パイロット事業は先導的な取り組みとして短期間での成果を期待するため、検討実施に時間を要すると考えられる次の取組を除外。

- ・河川区域外の農地や企業地、他機関との調整に時間を要する可能性があるもの
- ・流域全体の土砂管理、水管理など広域的な課題に関わるもの

### 2. 選定の手順

以下の手順で、パイロット事業を選定する。

#### ●手順1

基本方針1に対応する取組と、基本方針2・3に対応する取組を区分。



#### ●手順2

基本方針への対応が間接的なもの（例：基本方針1における現状把握調査等）及び、わかりやすい成果が得にくい事業（例：現状把握調査等）、検討実施に長期を要する取組を除外。

※表中、灰色の網掛け



#### ●手順3

効率的（効果的）な取組の観点から、他のプロジェクトと重複する取組を選定。



#### ●手順4

基本方針ごとの取組数を勘案し、「基本方針1」2つ、「基本方針2・3」2つ、計4つのパイロット事業を設定。

##### ○基本方針1に関する事業

手順3で選定した取組を統合し、2つのパイロット事業を設定

##### ○基本方針2・3に関する事業

手順3で選定した取組のうち、重複する取組数が上位2位の取組を選定し、パイロット事業を設定

### 3.パイロット事業の選定

#### ●基本方針1に関する事業

- 河道掘削等による湿地環境の創出
- 吉野川河川敷における池や草地のある多様な湿地環境の保全・創出（支川合流部・善入寺島周辺等）
- 吉野川中洲や善入寺島周辺におけるツル類のねぐら保全



#### 1 コウノトリやツル類等の生息環境の保全・再生

- 外来植物の駆除・協働による外来生物の駆除の推進
- 竹林に特有な希少植物の保護・増殖／希少種や生物多様性ホットスポットの情報集積と共有



#### 2 希少種や外来生物の情報集積と、その活用による希少種の保護、外来生物の駆除の推進

#### ●基本方針2・3に関する事業

- アユの郷土料理等を活かした地域振興／スジアオノリ、シジミ等の特産品の保全／ジンゾク狩りなどの地域文化の継承と観光振興への活用／食文化や生活文化・川と関わる伝統的な産業の伝承と地域振興への活用



#### 3 食文化や生活文化、川と関わる伝統的な産業の伝承と地域振興への活用

- 水路や里道を活かしたエコツアーの実施／善入寺島周辺の多様な水環境の再生と連動したエコツアーの実施／遊覧船等によるエコツアーの実施／エコツアーの実施（潮干狩りの復活等）／エコツアーの推進



#### 4 吉野川流域エコツアーの推進

パイロット事業の選定(全取組)

	対応する基本方針	わかりやすい成果(約2年間を想定) ●:アウトカム指標 ○:アウトプット指標	他のプロジェクトとの重複	短期間(約2年)での成果
<b>A.水辺のネットワークプロジェクト</b>				
<b>A1.海を含めた水辺のネットワーク形成(目標種:アユ・アユカケ・ウナギ・サツキマス)</b>				
1.生息実態の把握(生息状況・分断状況等)	(1)	—		○
2.登りやすく降りやすい魚道への改善	1	●	魚道の設置によるアユ等の遡上・降下数	○
3.河川から水田までの連続性の確保	1	●	魚道の設置によるウナギの遡上・降下数	
4.河道掘削等による瀬・淵の保全・再生 (アユやサツキマスの産卵場所やアユカケの生息場所の保全・再生)	1	○	河道掘削を実施した面積	D2-4
5.ウナギの寝床づくり	1	●	寝床を利用するウナギの数	○
6.カワウのコロニーの管理	(1)	○	流域全体のカワウの数の減少	
7.アユの郷土料理等を活かした地域振興	3	●	来訪者数の増加	F1-2
<b>A2.身近な水辺(水路や池)のネットワーク形成(目標種:カワバタモロコ・チュウガタシマスジドジョウ・シマヒレヨシノボリ・ミナミメダカ・トンボ類)</b>				
1.水路・ため池・湧水の現状把握	(1)	—		○
2.水路・里道の分断・消失等の防止	1	○	地域指定により保全された水路・里道の延長	
3.生物の生息・生育しやすい水路・池への改善(水質・構造等)	1	○	改善を実施した水路延長・池の数	
4.湧水環境の保全	1	○	公有地化や地域指定により保全された湧水地の数	
5.河道掘削等による湿地環境の創出	1	○	創出された湿地の面積	B1-2,B2-2,C1-1,C2-5
6.学校等での池や流れの創出	1・2	○・●	創出した池や流れの数・池や流れの創出に関わった人数	
7.ハス田周辺の外来植物の駆除(ボタンウキクサ・ホテイアオイ・オオフサモ等)	1	○	外来植物を駆除した面積	G1-2
8.ハス田の保全	1	○	保全されたハス田の面積	B1-4,B2-3
9.水路や里道を活かしたエコツアーの実施	2・3	●・●	エコツアーへの参加者数・エコツアーに関わった地域の人の人数	F2-1
<b>B.大型水鳥と渡り鳥を迎えるプロジェクト</b>				
<b>B1.コウノトリやツル・マガンを迎える環境づくり(目標種:コウノトリ・ナベツル・ソデグロツル・マガン・ヒシクイ・カモ類・チュウビ・ハイロチュウヒ)</b>				
1.吉野川河川敷における池や草地のある多様な湿地環境の保全・創出 (支川合流部・善入寺島周辺等)	1	○	改善を実施した面積	D2-8
2.河道掘削等による湿地環境の創出	1	○	創出された湿地面積	A2-5,B2-2,C1-1,C2-4
3.吉野川中洲や善入寺島周辺におけるツル類のねぐらの保全	1	○	保全されたツルのねぐらの面積	D2-7
4.ハス田の保全	1	○	保全されたハス田の面積	A2-8,B2-3
5.善入寺島周辺の多様な水辺環境の再生と連動したエコツアーの実施	2・3	●・●	エコツアーへの参加者数・エコツアーに関わった地域の人の人数	F2-1
<b>B2.シギ・チドリを迎える環境づくり(目標種:シギ・チドリ類)</b>				
1.土砂管理等による干潟・中洲の保全	1	○	保全された干潟・中洲の面積	C2-6
2.河道掘削等による湿地環境の創出	1	○	創出された湿地面積	A2-5,B1-2,C1-1,C2-4
3.ハス田の保全	1	○	保全されたハス田の面積	A2-8,B1-4
<b>C.下流域の人と生きものが集う川辺プロジェクト</b>				
<b>C1.旧吉野川・今切川の自然拠点の保全と創出(目標種:コウノトリ・シギ・チドリ類・トンボ類)</b>				
1.河道掘削等による湿地環境の創出	1	○	創出された湿地面積	A2-5,B1-2,B2-2,C2-4
2.旧吉野川の河畔林の保全と活用	1・2	○・●	保全された河畔林の面積・河畔林を利用する人の数	○
3.水辺の生きもの観察スポットづくり	2	●	観察スポットに訪れる人数	C2-9,F1-3
4.外来植物の駆除(ナガエツルノゲイトウ・ホテイアオイ等)	1	○	外来種を駆除した面積	G1-2
5.オオクチバスへの対策	(1)	○	駆除したオオクチバスの数	C2-12,G1-2
6.遊覧船等によるエコツアーの実施	2・3	●・●	エコツアーへの参加者数・エコツアーに関わった地域の人の人数	F2-1
<b>C2.吉野川汽水域の自然拠点の保全と再生(目標種:カヤネズミ・コウノトリ・シギ・チドリ類・ツバメ・オオヨシキリ・シオマネキ・ルイスハンミョウ・干潟性のハゼ類・トンボ類)</b>				
1.水草の生育状況の把握(コアマモ・オニビシ・クロモ等)	(1)	—		G1-1
2.シオマネキの稚蟹の分布調査とマップ作成	(1)2	●	調査に参加した人の数	○
3.ツバメのねぐら調査とマップ作成	(1)2	●	調査に参加した人の数	○
4.河道掘削等による湿地環境の創出	1	○	創出された湿地面積	A2-5,B1-2,B2-2,C1-1
5.ルイスハンミョウ保護のための干潟と沖洲海浜公園のネットワーク	1	○	創出された移動経路の面積	○
6.土砂管理等による干潟・中洲の保全	1	○	保全された干潟・中洲の面積	B2-1
7.淡水の管理による汽水環境の保全	1	—		
8.希少な動植物の生息・生育環境の保全(第十堰下の湧水、小松海岸、ヨシ原等)	1	○	改善された目標種の生息場所の面積	○
9.水辺の生きもの観察スポットづくり	2	●	観察スポットに訪れる人数	C1-3,F1-3
10.保全と利活用の調整(自然を利用するマナーの向上など)	(1)	—		○
11.外来植物の駆除(ナルトサワギク等)	1	○	外来種を駆除した面積	G1-2
12.オオクチバスへの対策	(1)	○	駆除したオオクチバスの数	C1-5,G1-2
13.エコツアーの実施(潮干狩りの復活等)	2・3	●・●	エコツアーへの参加者数・エコツアーに関わった地域の人の人数	F2-1
14.スジアオノリ、シジミ等の特産品の保全	3	○	スジアオノリ、シジミ等の販売量の増加	F1-2

パイロット事業の選定(全取組)

	対応する基本方針	わかりやすい成果(約2年間を想定) ●:アウトカム指標 ○:アウトプット指標	他のプロジェクトとの重複	短期間(約2年)での成果
<b>D.中流域のふるさとの川再生プロジェクト</b>				
<b>D1.美しい竹林の再生(目標種:マイヅルテンナンショウ・アキザキヤツシロラン)</b>				
1.竹林の管理推進	1・2	○● 竹林の管理面積、竹林の管理に関わる人や組織の数		○
2.竹林管理による発生材利用の促進	2・3	●● 発生材の利用に関連する人や組織の数、発生材の販売等による経済効果		○
3.竹林に特有な希少植物の保護・増殖	1	● 竹林に特有な希少植物の数の増加	G1-1	○
<b>D2.れき河原や瀬・淵の保全と再生(目標種:ナベヅル・ソデグロヅル・コチドリ・コアジサシ・アユ・アユカケ・サツキマス・ジンゾク(ヨシノボリ類))</b>				
1.ヨシノボリ類の生息状況調査	(1)	—		○
2.河道内の樹林管理の促進	1	○ 樹林管理面積の増加		○
3.河道掘削等によるれき河原の保全・再生	1	○ 再生されたれき河原の面積		
4.河道掘削等による瀬・淵の保全・再生	1	○ 河道掘削を実施した面積	A1-4	
5.外来植物の駆除(シナダレスズメガヤ等)	1	○ 外来種を駆除した面積	G1-2	○
6.樹林管理による発生材の利用促進	2・3	●● 発生材の利用に関連する人や組織の数、発生材の販売等による経済効果		○
7.吉野川中洲や善入寺島周辺におけるツル類のねぐらの保全	1	○ 保全されたツルのねぐらの面積	B1-3	○
8.吉野川河川敷における池や草地のある多様な湿地環境の保全・創出(支川合流部・善入寺島周辺等)	1	○ 改善を実施した面積	B1-1	○
<b>E.上流域の人と自然の活力向上プロジェクト</b>				
<b>E1.吉野川上流域の自然の保全・活用(目標種:ヤマセミ)</b>				
1.水辺の人工林の広葉樹林への転換	1	○ 転換面積		
2.環境に配慮したリバースポーツ(ラフティングなど)の実施	2・3	○● 環境に配慮したリバースポーツの実施回数の増加・経済効果	F2-2	○
3.ヤマセミの生息環境保全	1	● ヤマセミの営巣地の増加		○
4.イワナ(国内外来種)への対応	(1)	—	G1-2	○
<b>E2.支川上流の自然と文化の継承(宮川内谷川等)(目標種:サンバ・ジンゾク(カワヨシノボリ)・ナガレホトケドジョウ・ゲンジボタル・サワガニ)</b>				
1.ジンゾクの実態調査	(1)	—		○
2.ジンゾク・ゲンジボタル・サワガニなどの生息しやすい河川環境の保全と再生	1	○ 目標種の生息に適した環境の再生面積		○
3.ジンゾク狩りなどの地域文化の継承と観光振興への活用	2・3	○● イベントへの参加者数・イベント実施等による経済効果	F1-2	○
4.砂防ダムに堆積した砂礫の除去・砂防ダム等による分断化の解消	1	○ 事業実施箇所数		○
5.里山管理の促進	1	○ 里山管理面積		○
<b>F.川に人が集い・親しむプロジェクト</b>				
<b>F1.川への興味と関心の醸成</b>				
1.吉野川流域の魅力発信(四国一の清流、吉野川らしい風景、ブランド化、写真コンテスト等)	3	○ HPの閲覧数		○
2.食文化や生活文化・川と関わる伝統的な産業の伝承と地域振興への活用	3	● イベントへの参加人数	A1-7,C2-14,D1-2,E2-3	○
3.生きもの観察スポットづくり	2	● 観察スポットに訪れる人数	C1-3,C2-9	○
4.活動・行事の地域住民等へのPR	2	○ PR回数		○
<b>F2.川の自然を学び・親しむ機会の提供</b>				
1.エコツアーの推進	2・3	●● エコツアーへの参加者数・エコツアーに関わった地域の人の人数	A1-7,A2-9,C1-6,C2-13,D2-8,E2-3	○
2.環境に配慮したリバースポーツ(ラフティング・カヤックなど)の実施	2・3	○● 環境に配慮したリバースポーツの実施回数・経済効果	E1-2	○
3.子供が川遊びをする機会の提供と、川遊びに適した場所の保全、川の事故防止に向けた啓発	2	● 川遊びに参加した子供の人数、川の事故防止に向けた啓発資料の発行数		○
4.学校における環境教育での利用の促進	2	● 利用人数		○
5.人材育成プログラムの実施	(1)2	● 参加者数		○
6.水辺の楽校の有効活用	2	● 自然とのふれあいイベントへ参加人数		○
7.ゴミの投棄防止などの啓発	(1)	● ゴミの投棄量の減少		○
8.川辺のスポーツする場の整備(サイクリングロード、ジョギングロード等)	2	○ スポーツする場の整備箇所数		○
<b>G.協働による事業推進プロジェクト</b>				
<b>G1.協働による自然の保全・管理の推進</b>				
1.希少種や生物多様性のホットスポットの情報集積と共有	(1)	● 蓄積された希少種の生息・生育場所数	D1-3	○
2.協働による外来生物の駆除の推進	1	● 外来植物の駆除面積・外来動物の駆除数	A2-7,C1-4,C2-11,D2-5	○
<b>G2.協働による推進体制やしきみづくり</b>				
1.多様な主体の自発的な活動を促すしきみづくり(活動グループのネットワーク化等)	(1)(2)(3)	○ 参加登録組織の数		○
2.協働の事務局づくり	(1)(2)(3)	—		○
3.企業のCSR活動との連携促進	2	○ 事業に参加する企業数		○
4.地域間の連携促進	(1)(2)(3)	○ 地域間の連携によって実施された事業数		○
5.アドプト・プログラムの充実	2	○ 新たなアドプト・プログラム(環境管理)への参加団体数		○
6.地域住民との合意形成	(1)	—		○

- 1:基本方針1「生物の生息・生育場所の保全・再生・ネットワークに貢献する」に対応する取組  
 2:基本方針2「自然に親しむ場や機会を増やす」に対応する取組  
 3:基本方針3「地域の魅力づくりや地域活力の向上に役立つ」に対応する取組  
 ( ):間接的に関係する取組

パイロット事業の設定(基本方針1に対応する取組)

	対応する基本方針		わかりやすい成果(約2年間を想定) ●:アウトカム指標 ○:アウトプット指標	他のプロジェクトとの重複	短期間(約2年)での成果
<b>A.水辺のネットワークプロジェクト</b>					
A1.海を含めた水辺のネットワーク形成(目標種:アユ・アユカケ・ウナギ・サツキマス)					
1.生息実態の把握(生息状況・分断状況等)	(1)	—			○
2.登りやすく降りやすい魚道への改善	1	●	魚道の設置によるアユ等の遡上・降下数		○
3.河川から水田までの連続性の確保	1	●	魚道の設置によるウナギの遡上・降下数		
4.河道掘削等による瀬・淵の保全・再生(アユやサツキマスの産卵場所やアユカケの生息場所の保全・再生)	1	○	河道掘削を実施した面積	D2-4	
5.ウナギの寝床づくり	1	●	寝床を利用するウナギの数		○
6.カワウのコロニーの管理	(1)	○	流域全体のカワウの数の減少		
A2.身近な水辺(水路や池)のネットワーク形成(目標種:カワバタモロコ・チュウガタシマスジドジョウ・シマヒレヨシノボリ・ミナミメダカ・トンボ類)					
1.水路・ため池・湧水の現状把握	(1)	—			○
2.水路・里道の分断・消失等の防止	1	○	地域指定により保全された水路・里道の延長		
3.生物の生息・生育しやすい水路・池への改善(水質・構造等)	1	○	改善を実施した水路延長・池の数		
4.湧水環境の保全	1	○	公有地化や地域指定により保全された湧水地の数		
5.河道掘削等による湿地環境の創出	1	○	創出された湿地の面積	B1-2,B2-2,C1-1,C2-5	○
6.学校等での池や流れの創出	1・2	○・●	創出した池や流れの数・池や流れの創出に関わった人数		
7.ハス田周辺の外来植物の駆除(ボタンウキクサ・ホテイアオイ・オオフサモ等)	1	○	外来植物を駆除した面積	G1-2	
8.ハス田の保全	1	○	保全されたハス田の面積	B1-4,B2-3	
<b>B.大型水鳥と渡り鳥を迎えるプロジェクト</b>					
B1.コウノトリやツル・マガンを迎える環境づくり(目標種:コウノトリ・ナベヅル・ソデグロヅル・マガン・ヒシクイ・カモ類・チュウビ・ハイロチュウビ)					
1.吉野川河川敷における池や草地のある多様な湿地環境の保全・創出(支川合流部・善入寺島周辺等)	1	○	改善を実施した面積	D2-8	○
2.河道掘削等による湿地環境の創出	1	○	創出された湿地面積	A2-5,B2-2,C1-1,C2-4	○
3.吉野川中洲や善入寺島周辺におけるツル類のねぐらの保全	1	○	保全されたツルのねぐらの面積	D2-7	○
4.ハス田の保全	1	○	保全されたハス田の面積	A2-8,B2-3	
B2.シギ・チドリを迎える環境づくり(目標種:シギ・チドリ類)					
1.土砂管理等による干潟・中洲の保全	1	○	保全された干潟・中洲の面積	C2-6	
2.河道掘削等による湿地環境の創出	1	○	創出された湿地面積	A2-5,B1-2,C1-1,C2-4	
3.ハス田の保全	1	○	保全されたハス田の面積	A2-8,B1-4	
<b>C.下流域の人と生きものが集う川辺プロジェクト</b>					
C1.旧吉野川・今切川の自然拠点の保全と創出(目標種:コウノトリ・シギ・チドリ類・トンボ類)					
1.河道掘削等による湿地環境の創出	1	○	創出された湿地面積	A2-5,B1-2,B2-2,C2-4	○
2.旧吉野川の河畔林の保全と活用	1・2	○・●	保全された河畔林の面積・河畔林を利用する人の数		○
4.外来植物の駆除(ナガエツルノゲイトウ・ホテイアオイ等)	1	○	外来種を駆除した面積	G1-2	○
5.オオクチバスへの対策	(1)	○	駆除したオオクチバスの数	C2-12,G1-2	○
C2.吉野川汽水域の自然拠点の保全と再生(目標種:カヤネズミ・コウノトリ・シギ・チドリ類・ツバメ・オオヨシキリ・シオマネキ・ルイスハンミョウ・干潟性のハゼ類・トンボ類)					
1.水草の生育状況の把握(コアマモ・オニビシ・クロモ等)	(1)	—		G1-1	○
2.シオマネキの稚蟹の分布調査とマップ作成	(1)2	●	調査に参加した人の数		○
3.ツバメのねぐら調査とマップ作成	(1)2	●	調査に参加した人の数		○
4.河道掘削等による湿地環境の創出	1	○	創出された湿地面積	A2-5,B1-2,B2-2,C1-1	○
5.ルイスハンミョウ保護のための干潟と沖洲海浜公園のネットワーク	1	○	創出された移動経路の面積		○
6.土砂管理等による干潟・中洲の保全	1	○	保全された干潟・中洲の面積	B2-1	
7.淡水の管理による汽水環境の保全	1	—			
8.希少な動植物の生息・生育環境の保全(第十堰下の湧水、小松海岸、ヨシ原等)	1	○	改善された目標種の生息場所の面積		○
10.保全と利活用の調整(自然を利用するマナーの向上など)	(1)	—			○
11.外来植物の駆除(ナルトサワギク等)	1	○	外来種を駆除した面積	G1-2	○
12.オオクチバスへの対策	(1)	○	駆除したオオクチバスの数	C1-5,G1-2	○
<b>D.中流域のふるさとの川再生プロジェクト</b>					
D1.美しい竹林の再生(目標種:マイヅルテンナンショウ・アキザキヤツシロラン)					
1.竹林の管理推進	1・2	○・●	竹林の管理面積、竹林の管理に関わる人や組織の数		○
3.竹林に特有な希少植物の保護・増殖	1	●	竹林に特有な希少植物の数の増加	G1-1	○
D2.れき河原や瀬・淵の保全と再生(目標種:ナベヅル・ソデグロヅル・コチドリ・コアジサシ・アユ・アユカケ・サツキマス・ジンゾク(ヨシノボリ類))					
1.ヨシノボリ類の生息状況調査	(1)	—			○
2.河道内の樹林管理の促進	1	○	樹林管理面積の増加		○
3.河道掘削等によるれき河原の保全・再生	1	○	再生されたれき河原の面積		
4.河道掘削等による瀬・淵の保全・再生	1	○	河道掘削を実施した面積	A1-4	
5.外来植物の駆除(シナダレスズメガヤ等)	1	○	外来種を駆除した面積	G1-2	○
7.吉野川中洲や善入寺島周辺におけるツル類のねぐらの保全	1	○	保全されたツルのねぐらの面積	B1-3	○
8.吉野川河川敷における池や草地のある多様な湿地環境の保全・創出(支川合流部・善入寺島周辺等)	1	○	改善を実施した面積	B1-1	○

パイロット事業の設定(基本方針1に対応する取組)

	対応する基本方針		わかりやすい成果(約2年間を想定) ●:アウトカム指標 ○:アウトプット指標	他のプロジェクトとの重複	短期間(約2年)での成果
<b>E.上流域の人と自然の活力向上プロジェクト</b>					
E1.吉野川上流域の自然の保全・活用(目標種:ヤマセミ)					
1.水辺の人工林の広葉樹林への転換	1	○	転換面積		
3.ヤマセミの生息環境保全	1	○	ヤマセミの営巣に適した崖の創出箇所		○
4.イワナ(国内外来種)への対応	(1)	—		G1-2	○
E2.支川上流の自然と文化の継承(宮川内谷川等)(目標種:サンバ・ジンゾク(カワヨシノボリ)・ナガレホトケドジョウ・ゲンジボタル・サワガニ)					
1.ジンゾクの実態調査	(1)	—			○
2.ジンゾク・ゲンジボタル・サワガニなどの生息しやすい河川環境の保全と再生	1	○	目標種の生息に適した環境の再生面積		○
4.砂防ダムに堆積した砂礫の除去・砂防ダム等による分断化の解消	1	○	事業実施箇所数		○
5.里山管理の促進	1	○	里山管理面積		○
<b>F.川に人が集い・親しむプロジェクト</b>					
F1.川への興味と関心の醸成					
F2.川の自然を学び・親しむ機会の提供					
5.人材育成プログラムの実施	(1)2	●	参加者数		○
7.ゴミの投棄防止などの啓発	(1)	●	ゴミの投棄量の減少		○
<b>G.協働による事業推進プロジェクト</b>					
G1.協働による自然の保全・管理の推進					
1.希少種や生物多様性のホットスポットの情報集積と共有	1	●	蓄積された希少種の生息・生育場所数	D1-3	○
2.協働による外来生物の駆除の推進	1	●	外来植物の駆除面積・外来動物の駆除数	A2-7,C1-4,C2-11,D2-5	○
G2.協働による推進体制やしきみづくり					
1.多様な主体の自発的な活動を促すしくみづくり(活動グループのネットワーク化等)	(1)(2)(3)	○	参加登録組織の数		○
2.協働の事務局づくり	(1)(2)(3)	—			○
4.地域間の連携促進	(1)(2)(3)	○	地域間の連携によって実施された事業数		○
6.地域住民との合意形成	(1)	—			○

■ 選定の手順2によって除外した取組

- 1:基本方針1「生物の生息・生育場所の保全・再生・ネットワークに貢献する」に対応する取組
- 2:基本方針2「自然に親しむ場や機会を増やす」に対応する取組
- 3:基本方針3「地域の魅力づくりや地域活力の向上に役立つ」に対応する取組
- ( ):間接的に関係する取組

パイロット事業の設定(基本方針2・3に対応する取組)

	対応する基本方針	わかりやすい成果(約2年間を想定) ●:アウトカム指標 ○:アウトプット指標	他のプロジェクトとの重複	短期間(約2年)での実施
<b>A.水辺のネットワークプロジェクト</b>				
A1.海を含めた水辺のネットワーク形成(目標種:アユ・アユカケ・ウナギ・サツキマス)				
7.アユの郷土料理等を活かした地域振興	3	● 来訪者数の増加	F1-2	○
A2.身近な水辺(水路や池)のネットワーク形成(目標種:カワバタモロコ・チュウガタシマスジドジョウ・シマヒレヨシノボリ・ミナミメダカ・トンボ類)				
6.学校等での池や流れの創出	1・2	○● 創出した池や流れの数・池や流れの創出に関わった人数		
9.水路や里道を活かしたエコツアーの実施	2・3	●● エコツアーへの参加者数・エコツアーに関わった地域の人の人数	F2-1	○
<b>B.大型水鳥と渡り鳥を迎えるプロジェクト</b>				
B1.コウノトリやツル・マガンを迎える環境づくり(目標種:コウノトリ・ナベヅル・ソデグロヅル・マガン・ヒシクイ・カモ類・チュウヒ・ハイロチュウヒ)				
5.善入寺島周辺の多様な水辺環境の再生と連動したエコツアーの実施	2・3	●● エコツアーへの参加者数・エコツアーに関わった地域の人の人数	F2-1	○
B2.シギ・チドリを迎える環境づくり(目標種:シギ・チドリ類)				
<b>C.下流域の人と生きものが集う川辺プロジェクト</b>				
C1.旧吉野川・今切川の自然拠点の保全と創出(目標種:コウノトリ・シギ・チドリ類・トンボ類)				
2.旧吉野川の河畔林の保全と活用	1・2	○● 保全された河畔林の面積・河畔林を利用する人の数		○
3.水辺の生きもの観察スポットづくり	2	● 観察スポットに訪れる人数	C2-9,F1-3	○
6.遊覧船等によるエコツアーの実施	2・3	●● エコツアーへの参加者数・エコツアーに関わった地域の人の人数	F2-1	○
C2.吉野川汽水域の自然拠点の保全と再生(目標種:カヤネズミ・コウノトリ・シギ・チドリ類・ツバメ・オオヨシキリ・シオマネキ・ルイスハンミョウ・干潟性のハゼ類・トンボ類)				
2.シオマネキの稚蟹の分布調査とマップ作成	(1)2	● 調査に参加した人の数		○
3.ツバメのねぐら調査とマップ作成	(1)2	● 調査に参加した人の数		○
9.水辺の生きもの観察スポットづくり	2	● 観察スポットに訪れる人数	C1-3,F1-3	○
13.エコツアーの実施(潮干狩りの復活等)	2・3	●● エコツアーへの参加者数・エコツアーに関わった地域の人の人数	F2-1	○
14.スジアオノリ、シジミ等の特産品の保全	3	○ スジアオノリ、シジミ等の販売量の増加	F1-2	○
<b>D.中流域のふるさとの川再生プロジェクト</b>				
D1.美しい竹林の再生(目標種:マイヅルテンナンショウ・アキザキヤツシロラン)				
1.竹林の管理推進	1・2	○● 竹林の管理面積、竹林の管理に関わる人や組織の数		○
2.竹林管理による発生材利用の促進	2・3	●● 発生材の利用に関連する人や組織の数、発生材の販売等による経済効果		○
D2.れき河原や瀬・淵の保全と再生(目標種:ナベヅル・ソデグロヅル・コチドリ・コアジサシ・アユ・アユカケ・サツキマス・ジンゾク(ヨシノボリ類))				
6.樹林管理による発生材の利用促進	2・3	●● 発生材の利用に関連する人や組織の数、発生材の販売等による経済効果		○
<b>E.上流域の人と自然の活力向上プロジェクト</b>				
E1.吉野川上流域の自然の保全・活用(目標種:ヤマセミ)				
2.環境に配慮したリバースポーツ(ラフティングなど)の実施	2・3	○● 環境に配慮したリバースポーツの実施回数の増加・経済効果	F2-2	○
E2.支川上流の自然と文化の継承(宮川内谷川等)(目標種:サシバ・ジンゾク(カワヨシノボリ)・ナガレホトケドジョウ・ゲンジボタル・サワガニ)				
3.ジンゾク狩りなどの地域文化の継承と観光振興への活用	2・3	○● イベントへの参加者数・イベント実施等による経済効果	F1-2	○
<b>F.川に人が集い・親しむプロジェクト</b>				
F1.川への興味と関心の醸成				
1.吉野川流域の魅力発信(四国一の清流、吉野川らしい風景、ブランド化、写真コンテスト等)	3	○ HPの閲覧数		○
2.食文化や生活文化・川と関わる伝統的な産業の伝承と地域振興への活用	3	● イベントへの参加人数	A1-7,C2-14,D1-2,E2-3	○
3.生きもの観察スポットづくり	2	● 観察スポットに訪れる人数	C1-3,C2-9	○
4.活動・行事の地域住民等へのPR	2	○ PR回数		○
F2.川の自然を学び・親しむ機会の提供				
1.エコツアーの推進	2・3	●● エコツアーへの参加者数・エコツアーに関わった地域の人の人数	A1-7,A2-9,C1-6,C2-13,D2-8,E2-3	○
2.環境に配慮したリバースポーツ(ラフティング・カヤックなど)の実施	2・3	○● 環境に配慮したリバースポーツの実施回数・経済効果	E1-2	○
3.子供が川遊びをする機会の提供と、川遊びに適した場所の保全、川の事故防止に向けた啓発	2	● 川遊びに参加した子供の数の増加、川の事故防止に向けた啓発資料の発行数		○
4.学校における環境教育での利用の促進	2	● 利用人数		○
5.人材育成プログラムの実施	(1)2	● 参加者数		○
6.水辺の楽校の有効活用	2	● 自然とのふれあいイベントへ参加人数		○
8.川辺のスポーツする場の整備(サイクリングロード、ジョギングロード等)	2	○ スポーツする場の整備箇所数		○
<b>G.協働による事業推進プロジェクト</b>				
G1.協働による自然の保全・管理の推進				
G2.協働による推進体制やしきみづくり				
1.多様な主体の自発的な活動を促すしきみづくり(活動グループのネットワーク化等)	(1)(2)(3)	○ 参加登録組織の数		○
2.協働の事務局づくり	(1)(2)(3)	-		○
3.企業のCSR活動との連携促進	2	○ 事業に参加する企業数		○
4.地域間の連携促進	(1)(2)(3)	○ 地域間の連携によって実施された事業数		○
5.アドプト・プログラムの充実	2	○ 新たなアドプト・プログラム(環境管理)への参加団体数		○

■ 選定の手順2によって除外した取組

- 1:基本方針1「生物の生息・生育場所の保全・再生・ネットワークに貢献する」に対応する取組
- 2:基本方針2「自然に親しむ場や機会を増やす」に対応する取組
- 3:基本方針3「地域の魅力づくりや地域活力の向上に役立つ」に対応する取組
- ( ):間接的に関係する取組